

王子中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月12日(火)

出口 菜津さん
【みさと薬局】

演題 薬剤師の仕事について



薬局で薬剤師をしている出口さん。薬剤師の仕事を説明し、薬剤師の国家試験ではどんな問題が出るのか、実際の試験問題を紹介しました。薬剤師免許も実際に生徒たちに見てもらいました。薬剤師の仕事は、普段見えない仕事であるため、実際にどういう仕事をしているのか見てほしいということで、軟膏を練るデモンストレーションを行いました。何人かの生徒さんに前で実際に軟膏を練る体験をしてもらい、全員に間近で見てもらいました。生徒の皆さんに「いろんなことに興味を持てば、大人になっても興味を持つきっかけになり、職業選択につながります」と伝えました。

荒金 隆耀さん
【大分信用金庫】

演題 後悔しない決断をするために



お客様に出向いて中小企業、個人を対象としたお金の相談業務をしている得意先係の荒金さん。「銀行へ行ったことがある人？」という問いにはほぼ全員の生徒が手をあげました。仕事内容等の説明の後、生徒たちはグループになり、模擬紙幣で紙幣の数え方を体験しました。生徒の皆さんに、自身の高校時代のエピソードを交えながら、「友達と一緒に勉強して、友達が頑張っているから自分も頑張れました。後悔しない決断をするために、両親や友達の意見を大切にしてください。受験や部活などで困ったときに相談すると助けてくれます」と伝えました。また、社会人になったときのために「メモを取る癖をつけた方がいいです」とアドバイスしました。

藤武 治輝さん
【(株)オーイーシー】

演題 システムってどう作るの？ システムエンジニアの仕事とは？



システムの開発・運用をしているプログラマーの藤武さん。「ITとは?」、「システムをなぜ使うのか?」、「どうやってシステムを作り、実際どういうことをしているのか?」など、具体例を挙げて説明しました。生徒たちはプログラミング体験ゲーム『アルゴリズム1』をそれぞれタブレットで体験!生徒同士で教え合いながら楽しみました。生徒の皆さんに「システム開発に関わらず、仕事は誰かと協力しあって働きます。コミュニケーションが大切です。友達、先生など周りの人たちとのコミュニケーションを大切に、学生生活を楽しんでください」と伝えました。

王子中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月12日(火)

平原 駿太郎さん
【J：COM大分ケーブルテレコム(株)】



演題 出会いの大切さ

代理店の営業をしている平原さん。J：COMの取り組みやケーブルテレビとはどんな会社かを説明しました。生徒たちに、お客様へ営業するための体験『ペン売ってみよう』をグループワークで行ってもらい、生徒たちから様々なアイデアや意見が生まれました。会社を選んだ理由は「地元大分のためになる仕事がしたい。大分の生活を豊かにしたり、ためになる情報を発信していきたい」ことだったと話しました。生徒の皆さんに「働くことはお客様、仕事に関わる人、会社の仲間など人とながり、誰かに喜んでもらうこと。人との出会いを大切にしてほしい」と伝えました。

小野 英里佳さん
【九州労働金庫】

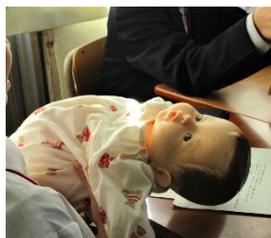


演題 中学生に伝えたいこと

金融機関の窓口対応をしている小野さん。九州労働金庫は働く人のための金融機関であることや、質問を交えながら、仕事内容、やりがいなどを説明しました。「お客様相手の仕事なので、伝えたいことをわかりやすく丁寧に伝えています。接客は大変ですが、お客様との会話でコミュニケーション能力がつかえました」と話しました。物価高の話や投資の説明、お金の保管方法、偽札の見分け方の説明のほか、練習用の札束で、クラス全員で紙幣を数える体験も行いました。部活など中学時代に頑張ったことを話し、生徒の皆さんに「夢を目指していくと挫折や諦めることもあります。挑戦すると、経験という財産が手に入ります。今は自分の夢中になれるもの、自分のしたいことをしてみましょう。また、自分が嫌だなど思うことにも挑戦してみましょう」と伝えました。



模擬紙幣で紙幣を数えてみました



首のすわっていない赤ちゃん人形を抱っこしてみました



プログラミング体験ゲーム

1年生7クラス。その他、大分市保健所の保健師や裁判所書記官、調査官の講演もありました。